

会長からの お知らせ

令和6年度大阪医科薬科大学医師会 評議員会・総会を開催しました

大阪医科薬科大学医師会 会長

森脇 真一

2024(令和6)年6月17日(月)、令和6年度大阪医科薬科大学医師会評議員会・総会を開催しました。

当医師会の上部団体である日本医師会、大阪府医師会からは前年度に引き続き、医師会の組織強化のための勤務医(特に若手勤務医)への加入促進活動が求められています。当医師会の現在の会員数は522名で、前回総会時の502名から微増しています。初期研修医の新加入者も30名から39名に、入会率は27%から71%に増加しました。今後も一層の勧誘活動が必要ですのでぜひ協力をよろしくお願いいたします。

今年度から、A②B 31歳以上の会費が、医賠償保険料の引下げに伴い4,000円減額されたことを、再度この場でご報告します。

総会では例年通り、令和5年度活動報告ならびに令和6年度活動計画の説明を行いました。詳細はホームページ(<https://www.ompu.ac.jp/u-deps/ompuda/about/business.html>)をご参照ください。どちらも審議ののち承認されました。続いて令和5年度会計報告ならびに令和6年度予算案について説明を行い、こちらも審議ののち承認されました。

本医師会員の先生におかれましては、今後とも若手医師への医師会勧誘を含めまして医師会活動へのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

会長からの お知らせ

第32回北摂四医師会医学会総会を開催しました

大阪医科薬科大学医師会 会長

森脇 真一

2024(令和6)年6月8日(土)、第32回北摂四医師会医学会総会を開催しました。北摂四医師会医学会は、高槻市、茨木市、摂津市の医師会と当医師会で構成されています。今年度は当医師会が当番でした。当日、会場には32名の先生が来場されました。

特別講演は、北摂四医師会医学会会長をさせていただいております私が、「日常診療に必要な薬疹の知識2024」と題して講演をさせていただきました。軽症なものから発症すると急速に重症化するものまで、多くの症例を提示させていただき紹介いたしました。熱心にご聴講いただき、多くの質問がありましたことから関心の高さを伺えました。また、一般演題では12題発表いただき、活発な討論が展開されました。この中から2題を優秀演題賞として表彰し、賞金を授与いたします。北摂四医師会医学会ホームページ(<https://4ishikai.jp/meeting/index.html#program>)に抄録を掲載していますので、ぜひご高覧ください。

来年度は、6月14日(土)に開催します。一般演題でのご発表、多数の先生方のご参加をいただきますようよろしくお願いいたします。

会長からの お知らせ

医師会会員情報管理システム(MAMIS)の運用が 10月より始まります

大阪医科薬科大学医師会 会長

森脇 真一

日本医師会が構築を進めている医師会会員情報管理システム(MAMIS)は、従来の複写式用紙を用いた入会・異動等の諸手続きをWebで実現する仕組みです。

会員の先生方がMAMISをご利用いただく際の「ログインID」、「ログインパスワード」は、日本医師会より9月末から順次発送される予定です。「Myページ」で登録情報を各自管理し、住所変更などの異動手続きがWeb上でできるようになります。また、受講履歴や取得単位なども確認できるようになります。

日本医師会MAMIS情報共有サイト(<https://member-sys.info/>)から情報配信されています。システムの詳細については、次号(第63号 令和7年3月発行)でご案内いたします。

MAMIS
Medical Association Member Information System

日本医師会 会員情報管理システム

2024年10月 公開予定

MAMISは、医師会員 及び 研修などに参加する非会員が利用できる Webベースのシステムです。

特に、これまで書類で行ってきた入会・異動等の手続きを Web上で行うことで、先生方の手続き負担を軽減します。

今後も機能追加等を継続し

<p>全ての医師会員が対象です</p> <p>都市区等医師会(地区医師会)～日本医師会まで、全ての医師会員が、システムの利用対象となります。</p> <p>加えて、日本医師会の研修制度をご利用される非会員の医師も対象となります。</p> <ul style="list-style-type: none">日本医師会都道府県医師会都市区等医師会	<p>Webで諸手続きができます</p> <p>現在の日本医師会が配布する複写式届出用紙は、2024年上期中に配布終了2024年末に受付終了予定です。</p> <p>以降の住所変更等の手続きは、全てMAMIS上で行えます。</p> <p>2024年上期中に配布終了 2024年末に受付終了予定</p>	<p>会員のポータルサイトとして改良を重ねます</p> <p>サービス提供開始時は、医師年全や日医医師賠償特約保険の加入状況の確認等も行えます。</p> <p>今後、生涯学習、かかりつけ医機能研修の申込・単位確認のほかに、認定産業医・認定健康スポーツ医の申請手続きを追加予定です。</p>
---	--	---

お問い合わせ先

<p>日本医師会 Japan Medical Association</p>	<p>日本医師会 会員情報管理システム運営事務局 inquiry@mamis.med.or.jp 0120-110-030 受付時間 平日10:00～18:00 ※土・日・祝日、年末年始を除く平日</p>	<p>日本医師会 会員情報室 jmamem@po.med.or.jp (代) 03-3946-2121 受付時間 平日10:30～17:30 ※土・日・祝日を除く平日</p>
---	--	---

第8回大阪府医師会 新研修医ウェルカムパーティー参加報告

大阪医科薬科大学医師会 副会長

萩森 伸一

桜の花が満開の4月6日(土)、大阪府医師会主催の第8回新研修医ウェルカムパーティーに参加しました。会場は上本町のシェラトン都ホテル大阪で、新研修医254名、病院関係者および医師会関係者93名の合計347名が参加した、大変賑やかな会になりました。大阪医科薬科大学病院からは新研修医19名と森脇真一会長、星賀正明先生、そして私の計22名が参加しました。実は当大学病院での研修医オリエンテーションは前日金曜日に終了し、パーティーは土曜日の午後、しかも大阪市内での開催ということで、星賀先生とも「参加する研修医が少なかったら寒いね」などと心配していたのですが、森脇会長がオリエンテーションの中で参加を促され、また大学発都ホテル行きチャーターバスを準備したこともあり、大阪急性期・総合医療センターの22名に次ぐ19名、当大学病院研修医57名の1/3が参加し、胸を撫で下ろした次第です。

医師会理事の杉本圭相先生の進行で開会し、医師会長の高井康之先生、次に勤務医部会会長の澤芳樹先生から新研修医へのお祝いの言葉がありました。次いで副会長の加納康至先生からは大阪府医師会の歴史と役割、業務について、大阪府医師協同組合、大阪府医師信用組合はそれぞれの理事の方から事業内容についての説明がありました。特に研修医2年間の日本医師会会費は無料、またその間は医師賠償責任保険に年間15,000円と低額で加入できること、医療紛争の際には解決まで医師会のサポートが一貫して受けられることが一番の入会の魅力と感じました。研修医であっても患者さんや家族から直接本人に訴訟を起こされることも想定され、サポート体制が充実した賠償保険に加入することを若い先生は真剣に考えて欲しいと思います。一方、医師協のJapan Doctor's Card(クレジットカード)や医師信のカーローンなどは研修医にとっても魅力的なようで、パンフレットに見入る姿もみられました。



会場風景

その後は副会長の中尾正俊先生による乾杯のあと、食事・歓談の時間となりました。研修医の先生方は他病院で働く同級生との再会を楽しみにしていたようで、着席スタイルの食事にも関わらず、乾杯と同時に友人を探して歩きまわる人で溢れ、あちらこちらで満面の笑顔で談笑が始まったのでした。途中、「今の診療科を選択した理由を教えてください」など、研修医からの質問にベテラン医師が答え



乾杯の様子

るコーナーもあったのですが、大勢の楽しい会話でかき消されてしまうほど今回は熱いウェルカムパーティーでした。他の都道府県から大阪府へ転居間もない研修医の先生はまだ生活も慣れず寂しかったことでしょうか、このパーティーを通じて多くの友人を作ることができ、これからの生活に安堵と希望が生まれたに違いありません。コロナ禍で5年間中断していたウェルカムパーティーがこのような形で復活、そして大成功を収めたことを本当に嬉しく思います。

その後、本学出身で日本医師会副会長の茂松茂人先生から新研修医へのお祝いの言葉があり、府医師会副会長、阪本栄先生の挨拶でお開きになりました。参加してくれた19名の新研修医の先生方に感謝するとともに、チャーターバスの手配やパンフレットの作成を一手に引き受けてくれた大学医師会事務局の村上さん、池田さんに御礼申し上げます。



大阪医科薬科大学病院の新研修医と関係者